

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 7 年 4 月 9 日(2025.4.9)

【公開番号】特開 2025-22967(P2025-22967A)
【公開日】令和 7 年 2 月 14 日(2025.2.14)
【年通号数】公開公報(特許)2025-028
【出願番号】特願 2024-205149(P2024-205149)
【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

【手続補正書】

【提出日】令和 7 年 4 月 1 日(2025.4.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技状態として、所定遊技状態と、前記所定遊技状態より遊技者にとって有利な特定遊技状態とを含む複数の遊技状態を有しており、

所定の状況で第 1 所定条件が成立した場合に、前記特定遊技状態への移行が後に行われ得ることとなる第 1 状態となるようにする第 1 手段と、

前記第 1 状態とされた後に第 2 所定条件が成立した場合に、前記第 1 状態とされた前記特定遊技状態への移行が行われるようにする第 2 手段と、

所定の前記第 1 状態となった後、当該所定の前記第 1 状態に対応する所定の前記特定遊技状態への移行が行われるより前に第 3 所定条件が成立した場合に、その後に当該所定の前記第 1 状態に対応する当該所定の前記特定遊技状態への移行が行われることがないこととなる第 2 状態となるようにする第 3 手段と、

30

を備え、

前記第 3 所定条件は遊技が行われている状況で成立可能なものであり、

前記第 1 所定条件が成立したことに基づいて第 1 報知が行われることを可能とする手段と

、

前記第 2 状態への移行より後、当該第 2 状態に移行したことに対応する第 2 報知が行われることを可能とする手段と、

を備えていることを特徴とする遊技機。

40

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 4】

ここで、上記例示したような遊技機等においては遊技の好適化を図る上で未だ改善の余地がある。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

50

【補正対象項目名】 0 0 0 5

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 5 】

本発明は、上記例示した事情等に鑑みてなされたものであり、遊技の好適化を図ることが可能な遊技機を提供することを目的とするものである。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 6

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 6 】

本発明は、
遊技状態として、所定遊技状態と、前記所定遊技状態より遊技者にとって有利な特定遊技状態とを含む複数の遊技状態を有しており、

所定の状況で第 1 所定条件が成立した場合に、前記特定遊技状態への移行が後に行われ得ることとなる第 1 状態となるようにする第 1 手段と、

前記第 1 状態とされた後に第 2 所定条件が成立した場合に、前記第 1 状態とされた前記特定遊技状態への移行が行われるようにする第 2 手段と、

所定の前記第 1 状態となった後、当該所定の前記第 1 状態に対応する所定の前記特定遊技状態への移行が行われるより前に第 3 所定条件が成立した場合に、その後に当該所定の前記第 1 状態に対応する当該所定の前記特定遊技状態への移行が行われることがないこととなる第 2 状態となるようにする第 3 手段と、

を備え、

前記第 3 所定条件は遊技が行われている状況で成立可能なものであり、

前記第 1 所定条件が成立したことに基づいて第 1 報知が行われることを可能とする手段と

、

前記第 2 状態への移行より後、当該第 2 状態に移行したことに対応する第 2 報知が行われることを可能とする手段と、

を備えていることを特徴とする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 7

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 7 】

本発明によれば、遊技の好適化を図ることが可能となる。

10

20

30

40

50